

＜緩和ケア部会：平成27年度事業評価＞**1. 年3回以上、緩和ケア研修会企画、実施の調整をする**

実績：拠点病院3施設、ハートライフ病院、浦添総合病院、豊見城中央病院、沖縄赤十字病院で開催済み。

評価：10点

次年度：継続。拠点病院以外の開催可能な病院と連携し修了者が増加するように強化する。平成29年3月までに拠点病院のがん診療に携わる医師の90%、拠点病院の研修医(2年目～5年目)の100%の修了を目標とする。

2. 緩和ケアフォローアップ及び在宅緩和ケア研修会を開催する

実績：平成27年2月21日(日)、沖縄県医師会館にて開催予定。

評価：10点

次年度：継続。

3. 在宅緩和ケア地域連携事業を強化する**(1) 在宅緩和ケアマップの改定を行う**

実績：メンテナンス中

評価：7点

次年度：継続

(2) 症状緩和を目的とした緩和ケア関連の地域連携クリティカルパスの作成と運用

実績：作成済みだが、症例が1件しかなく運用が出来ていない。

評価：5点

次年度：継続。琉大病院緩和ケアセンターと医療支援センターで協議していく。

4. 苦痛の評価を行い改善する**(1) スクリーニングを行う**

実績：琉大は一部の外来、全病棟で実施している。中部病院でも一部で始めている。

評価：7点

次年度：拠点病院ではスクリーニング実施率を100%に持っていく。外来での運用の困難点を改善できるように協議していく。

(2) 除痛率調査を行う

実績：琉大ではセーフマスターのデータ検索にて診療科、病棟別に算出し、毎月のデータを提示している。

評価：7点

次年度：拠点病院でスクリーニングを行い、除痛率を上げるようにしていく。

(3) 気持ちのつらさに対応していく

実績：琉大のみで実施

評価：3点

次年度：継続

5. 看取りを施設で行うための勉強会の実施

実績：勉強会を開催した。

評価：10点

次年度：継続

6. 緩和ケアの現状を分析し、ホスピス病棟をもつ病院、在宅医療との連携を把握する。

(1) 現状を分析し把握する

実績：ホスピス病棟や在宅医療者との交流会を年4回行っている。次回は平成28年3月3日開催予定。

評価：10点

次年度：緩和ケアの現状を分析し、ホスピス病棟を持つ病院、在宅医療との連携を把握する。

7. チーム医療体制を強化する為に基礎データ収集を行う

実績：がんリハ理学療法士、緩和薬物療法薬剤師の人数把握済み。

評価：10点

次年度：継続。データ収集を行う。

8. 緩和ケアに対する認識を普及させる（一般向け）

実績：ポスター、緩和ケア研修会修了者名簿の掲示、緩和ケア週間にてパネル展示・冊子の配布等行った。

評価：10点

次年度：継続 一般向け研修会を開催する

9. 患者会へ後援する

実績：未実施

評価：3点

次年度：引き続き検討していく

10・行政との交流会を行う。

・年1回、行政との交流会を行う。

実績：今年度は交流会の企画、開催を進める事ができなかった。

評価：0点

次年度：引き続き、検討していく